チャンス通信 NO.17

参加メンバー

たくさんの方が参加してくださいました。
ありがとうございます！（作成：倉内）

2009/07/02

特別講義：実用版！新Ｋ式発達検査の詳細

ＡＭ10：15～ＰＭ13：00

・何のための検査なのか

子どものためのものであり、子どもの今の状態を調べるもの。
今できる力だけでなく、明日出来る力を見いだすものである。

・新Ｋ式発達検査の特徴

基本的には観察された行動の中から、発達状況（発達の全体像）を読み取っていく。
そのため、読む人（経験値・能力）によって結果が変わりやすい難しいテストでもある。

・新Ｋ式発達検査について

適用年齢は生まれて100日～成人まで。積み木やはめ板などを玩具的な使用し、そのやり取りの中で用語や対人刺激に対する関わり方を提示する。

・新Ｋ式テストの実際

記録用紙は最大６枚。年齢に応じて使用する。（単位は「枚」ではなく「葉」である）
人との関わり・物への関わり・心理機能などを見る。

・各項目とその意味を理解する為に

ポイントは横に見ていくこと。進むごとに基本年齢、難易度が上がる。
運動面・認知面・言語面の項目に分かれる。

今回はいつものチャンスではなく、特別講義を萬慶先生にしていただきました。
私たちやその子どもたちに関わりの深い「新Ｋ式発達検査」…。
児童相談所やこども家庭相談センターなどに療育手帳などの申請に行った時や、市の発達相談などで良くされるテスト「新Ｋ式発達検査」とは何ぞや？
これだけ何度もやる機会があっても　私たち親は素人だから、ちんぷんかんぷんさっぱり解りません。しかも児童相談所の人は、そのテストについて詳しく教えてくれる事はありません。更には出た数値までも隠されてしまう始末…。
私たちは本当の事が知りたいだけなのに！そんな私たちの疑問や鬱屈を晴らすべく、萬慶先生があの細い体から、驚くような速さとパワーで、私たちに講義してくださいました。久しぶりに学生時代に戻ったような気分に浸りつつ、必死で先生のスピードに振り落とされぬよう、ついて行ったのでした。

次回のチャンスは 9/10「進学について」です。